

1. 長野県の現状と課題

【現状】

○街路は、都市部の「ひと」「もの」を運ぶ重要な役割とともに、安全な歩行空間の創出や災害の拡大を遮断する都市防災機能を有しているが、未整備区間では、危険な歩行環境や災害時の延焼拡大の危険性など、都市の魅力を低下させている。

【課題】

○長野県の街路整備率は、46.5%(H26時点)であり、全国平均(67.6%)を大きく下回っており、効果的かつ効率的に街路事業を整備推進することが必要である。
さらに、全国では、登下校中の児童等が支障する交通事故が多発しており、安全な通学路の確保が求められている。



歩道のない通学路



歩道が狭い通学路

2. 計画の目標

緊急合同点検※1の要対策箇所のうち、1箇所(田中線)の整備を完了させる。
※1 平成24年5月30日付け通知「通学路における交通安全の確保について」に基づく点検

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成25年度～平成28年度(4年間)

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H25(現況値)	H28(目標値)
緊急合同点検の要対策箇所対策済率※1	0%	100%

※1 対策済率=対策実施済箇所数(箇所)／要対策箇所数(箇所)

【事業の主な内容】

基幹事業 : 街路事業4箇所

【箇所数と事業費】

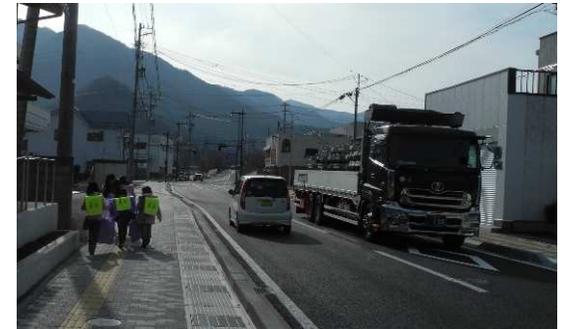
	県	市町村	計
基幹事業	4箇所 13.7億円	0箇所 0.0億円	4箇所 13.7億円
関連社会資本整備事業	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円
効果促進事業	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円
計	4箇所 13.7億円	0箇所 0.0億円	4箇所 13.7億円

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H28(目標値)	H28(実績値)
緊急合同点検の要対策箇所対策済率	100%	100%



安全な通学路の確保

■事業効果の発現状況

○田中線等の整備を推進した結果、通学路の歩道整備が促進され、安全な都市内歩行空間の創出に寄与した。

5. 評価と今後の方針

○都市部の歩道未整備箇所のうち、通学路点検要対策箇所を優先的に整備し、安全な通学路を確保することにより、快適な都市環境を構築したと評価できる。

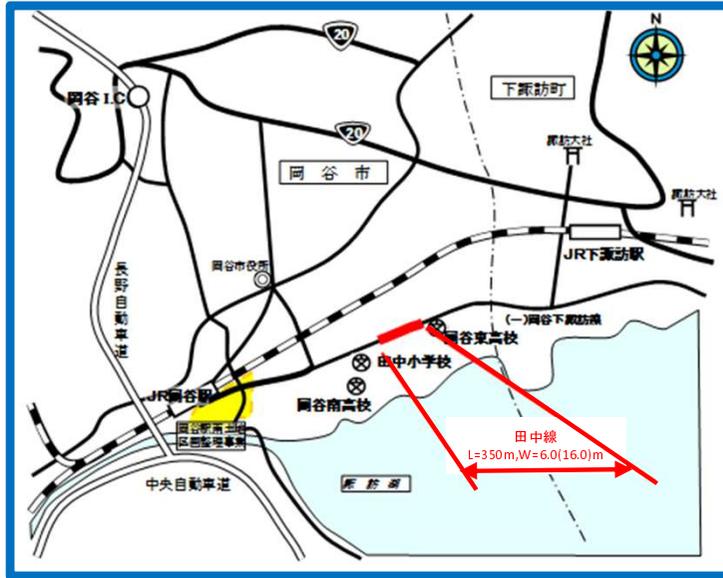
○引き続き、安全な歩行空間を確保するために、歩道未整備区間のうち、通学路を優先的に整備し、安全で安心なまちづくりを推進していく。

整備効果事例

事例① 街路事業 (都)田中線 岡谷市 若宮



事業箇所



【整備効果】

◆安全な通学路を確保



整備前



整備後

◆世帯数の増加

